

第2弾は「最強ランチ」

今年春に泉州で初めての本格的なグルメ本「泉州のおいしいお店」を発売したキットプレス社（高石市）が、第二弾の「泉州の最強ランチ本」（七百八十円）を刊行した。地元の著名人が食を語る「私的うまいもん」などユニークなコーナーをはじめ、食だけでなく泉州の文化の一端も分かる一冊となっている。

地元著名人「私的うまいもん」も

脱サラして編集長となった小田原大輔さんは、スタッフに主婦が多いことを反映して二冊目はランチだけにこだわった編集とした。大手出版社などがグルメ本を出版するなか、「相手

にしてみらえなくて大変」（小田原編集長）だが、今回は高石市以南の百九店を紹介。金額別やおしゃれな店のほか、家族向けに土日もランチのあるお店や子供メニュー、子供イスがある店などを、同社の視点から選んでいる。

「私的うまいもん」では、漫画家の南勝久さん、泉州人代表の小野修治さん、井坂酒造場蔵主の井坂佳嗣さん、翻訳家の羽エヴァさんの四人が、食についてこだわりの思い出を紹介。食に関する「言葉のレシピ」や泉州の遊び場所の紹介もある。

キットプレス社の泉州グルメ本



キットプレス社刊行の「泉州の最強ランチ本」